

再稼働同意なら覚悟が必要

大工

(福島県 66)

「収束宣言」や「仮の町」構想など私たち原発事故の被災者は様々な情報に翻弄されてきた。

本来の責任は誰にあるのか。考え続けた3年10カ月、砂をかむような生活だった。

私たち住民に何か責任があったのだろうか。あったとすれば原発を誘致したことか。しかし私たちが誘致した原発は「絶対に安全」なはずだった。

被災者として言えば、原発再稼働には解決しなければならぬ問題が多すぎる。放射性廃棄物の最終処分方法や廃炉費用、事故が起きたときの損害賠償の

問題も課題が残る。被害の線引きにおいて、同じような被害を受けていても、現実には原発の立地自治体と周辺自治体では賠償内容に差が生じている。

福島原発事故の被害規模を見れば、再稼働には周辺自治体の同意は絶対に必要だと思う。記名式の住民投票がいい。その記録を残し、補償が必要な原発事故が起きたら、再稼働に賛成した人の補償額が少なくとも仕方あるまい。

課題が山積する現状で再稼働に同意するというのは、そういうことだ。再稼働に同意する人は、福島を教訓にした厳しい覚悟が必要だと思う。